

# 台湾におけるエゾアカヤマアリの記録

東京大学教養学部生物学教室 寺山 守\*

TERAYAMA, Mamoru: Records of *Formica Formica yessensis* FOREL. from Taiwan.

The Palearctic species, *Formica Formica yessensis* FOREL. are recorded from Nanhutashan, Tayulin, Hohuanshan, Yingfeng, Hsingenkeng, Sung-yuang and Nengkaoshan, Taiwan.

エゾアカヤマアリ *Formica (Formica) yessensis* FOREL. は韓国, 中国東北部, シベリア, 日本に分布し, 日本では北海道西南部から本州中部以北の山地にかけて生息している。さらに本種は WHEELER (1933) による台湾の Nankataigan (おそらく Nankotaizan の誤記, 現在の台中県南湖大山) からの記録がある。旧北区系の本種が地理的に熱帯と亜熱帯の中間に位置する台湾から記録されていることは, 生物地理学上興味深いことからであるが, WHEELER 以後, 本種の台湾からの分布は確認されない状態であった。しかしながら, 著者が採した台湾産のアリ標本の中に本種を確認することができたので報告する。

台湾において本種は標高2450m以上の山岳地域に限って分布が見られ (Fig. 1), 日当たりの良い崖の斜面などに針葉樹の落葉や枯草を集めて塚を形成していた。日本産のものと比較した結果, 雌アリにおいて軽微な色彩的差を示す程度で, 雄アリ, 雌アリ, 働きアリともに形態的差異は認められなかった。以上のように地理的隔離による分化の程度が著しく低いことと, 現在の分布状況から判断して, 本種の台湾での分布は, 台湾が大陸部と陸続きであった最終氷期 (ウルム氷期) に大陸部側から侵入し, その後の温暖化に伴って山岳部に取り残されたという最も簡単な仮説を採用したい。

\*現在, 駒形学園・駒形女子高等学校

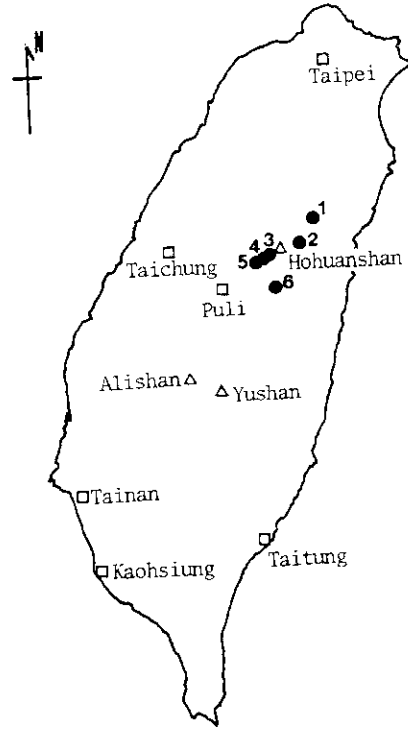


Fig. 1. Distribution map of *Formica yessensis* in Taiwan.

1. Nanhutashan (南湖大山); 2. Tayulin (大禹嶺); 3. Hohuanshan (合歡山); 4. Yingfeng (稜峰); 5. Hsingenkeng (新人崗); 6. Sung-yuang Nengkaoshan (松原, 能高山)

## 検視標本

6 workers, 大禹嶺 (2700m), 18-X-1977, 山内採; 3 workers, 大禹嶺 (2800m), 18-X-1977, 山内採; 30 workers, 新人崗 (2600m), 14-VIII-1980, 寺山採; 8 males, 合歡山 (2800m), 19-VIII-1980, 寺山採; 2 females, 3 males, 21 workers, 桜峰 (2650m), 19-VIII-1980, 南部採; 1 male, 合歡山, 31-VIII-1980, 羅採; 10 workers, 能高山, 松原 (2450m), 懸川採; 4 workers, Nōkō (能高), 6-VIII-1939, 高橋採(台湾農試所蔵)。

末尾ながら貴重な標本を検させてくださった久保田敏(都立赤城台高校), 懸川雅市(都立向島工業高校), 南部敏

明(埼玉県立寄居高校), 山内克典(岐阜大学教育学部), 邱瑞珍・周根清(台湾農業試験場)の各氏にお礼申し上げます。

## 文 献

園部力雄, 1977. 日本のアリ(3) *Formica*属. 蟻, 8: 1-2

村上陽三・金昌浚, 1980. エゾアカヤマアリは九州に分布するか. 蟻, 9: 7-8

WHEELER, W.M., 1933. New ants from China and Japan. *Psyche*, 40: 56-67

寺西 暢, 1936. 熱河省産昆虫類, アリ科.

第1次滿蒙學術調査研究團報告, 第5部1区第11編第60集.